



TITLE:

## II.概要

AUTHOR(S):

---

CITATION:

II.概要. 霊長類研究所年報 2012, 42: 2-23

ISSUE DATE:

2012-10-04

URL:

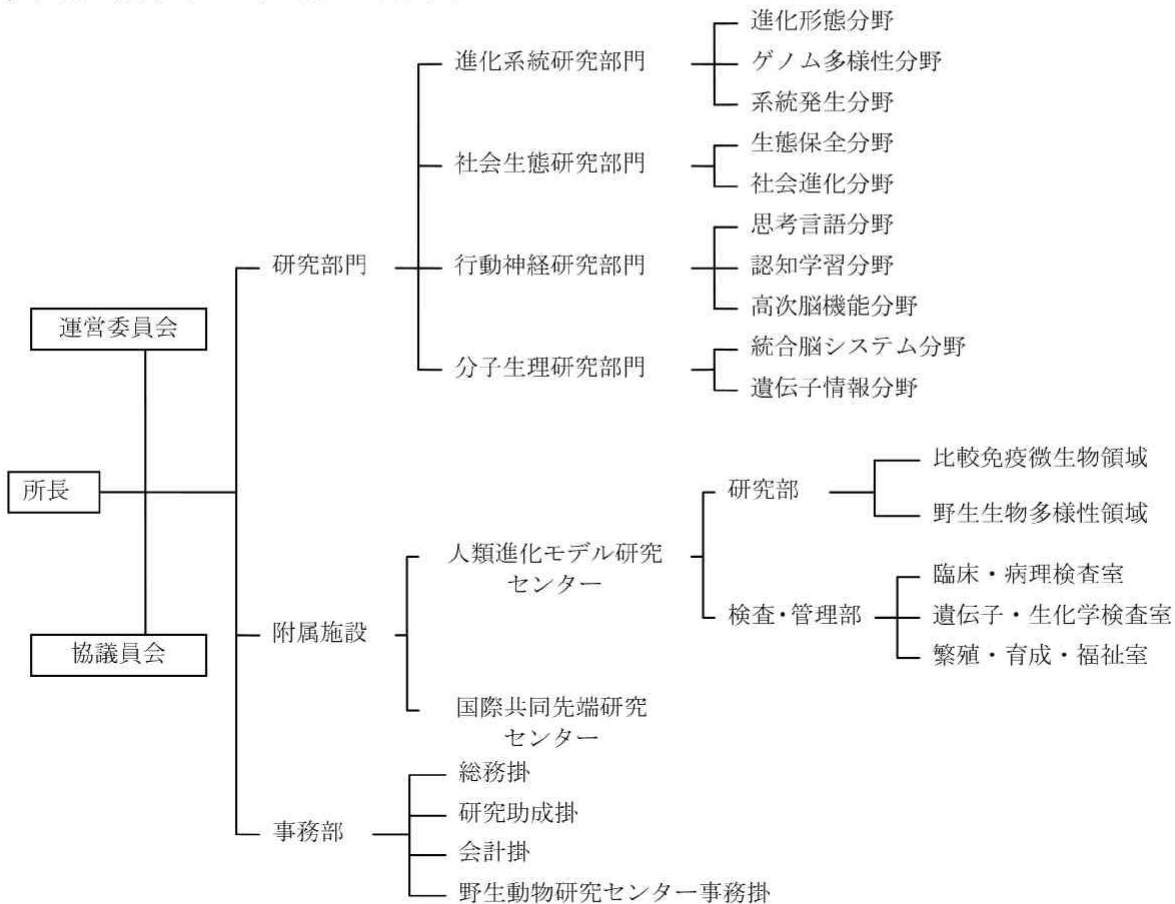
<http://hdl.handle.net/2433/171625>

RIGHT:

## Ⅱ. 研究所の概要

### 1. 組織

#### (1) 組織の概要（2012年3月31日現在）



所長	松 沢 哲 郎	
運営委員	諏 訪 元	(東京大学総合研究博物館 教授)
(順不同)	長谷川 壽一	(東京大学大学院総合文化研究科 教授)
	河 村 正 二	(東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)
	伊 佐 正	(生理学研究所 教授)
	入 来 篤 史	(理化学研究所 チームリーダー)
	中 道 正 之	(大阪大学大学院人間科学研究科 教授)
	五百部 裕	(椋山女学園大学人間関係学部 教授)
	山 極 壽 一	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	阿 形 清 和	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	中 務 真 人	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	平 井 啓 久	(京都大学霊長類研究所 教授)
	高 田 昌 彦	(京都大学霊長類研究所 教授)
事務長	八 木 定 行	

#### 職員の内訳

教授	准教授	助教	特定研究員	事務職員	技術職員	小計	非常勤(時間)	合計
14	13	20	6	11	10	74	111	185

#### 大学院生・研究者等の内訳

博士課程	修士課程	特別研究学生	外国人共同研究者	特別研究員(PD)	合計
16	18	3	1	2	40

## (2) 所員一覧 (2011 年度)

## 進化形態分野 Fax:0568-61-5775

濱田 穰	教授
平崎 鋭矢	准教授
毛利 俊雄	助教
加賀谷 美幸	教務補佐員
橋本 裕子	教務補佐員
水谷 典子	事務補佐員
Porrawee Pomchote	研究生

## ゲノム多様性分野 Fax:0568-62-9554

古賀 章彦	教授
川本 芳	准教授
田中 洋之	助教
市野 進一郎	教務補佐員
樋口 翔子	技術補佐員
川本 咲江	技能補佐員
澤村 育栄	事務補佐員
原 暢	大学院生

## 系統発生分野 Fax:0568-63-0536

高井 正成	教授
西村 剛	准教授
江木 直子	助教
矢野 航	研究員 (グローバルCOE)
柏原 あゆみ	教務補佐員
服部 美里	事務補佐員
伊藤 毅	大学院生
西岡 佑一郎	大学院生

## 生態保全分野 Fax:0568-63-0564

渡邊 邦夫	教授
半谷 吾郎	准教授
橋本 千絵	助教
郷 もえ	教務補佐員
大井 由里	技術補佐員
毛利 恵子	技術補佐員
大井 徹	学外非常勤講師
張 鵬	外国人共同研究者
Cedric Sueur	外国人共同研究者
澤田 晶子	大学院生
大谷 洋介	大学院生
濱田 飛鳥	大学院生
江島 俊	大学院生

## 社会進化分野 Fax:0568-63-0565

古市 剛史	教授
Michael A Huffman	准教授
辻 大和	助教
松原 幹	研究員 (研究機関)

竹元 博幸	研究員 (産官学連携)
風張 喜子	研究員 (産官学連携)
柳井 由香	技術補佐員
青木 美香	技術補佐員
広瀬 しのぶ	事務補佐員
Paula A Pebsworth	外国人共同研究者
徳山 奈帆子	大学院生
柳 興鎮	大学院生
韓 昭晶	大学院生
R Sayuri Cicalise Takeshita	大学院生

## 思考言語分野 Fax:0568-62-2428

松沢 哲郎	教授
友永 雅己	准教授
林 美里	助教
伊村 知子	特定助教 (特別推進研究)
服部 裕子	研究員 (研究機関)
打越 万喜子	研究員 (研究開発施設共用)
大平 知美	研究員 (研究開発施設共用)
平田 加奈子	研究員 (科学研究)
熊崎 清則	教務補佐員
小倉 匡俊	教務補佐員
大藪 陽子	技術補佐員
高島 友子	技術補佐員
江口 聖子	技術補佐員
黒澤 圭貴	技術補佐員
酒井 道子	事務補佐員
奥村 由香利	事務補佐員
Christoph D Dahl	外国人共同研究者
Mariska Kret	外国人共同研究者
狩野 文浩	大学院生
兼子 峰明	大学院生
Christopher Martin	大学院生
山梨 裕美	大学院生
Yena Kim	大学院生
村松 明穂	大学院生
兪 リラ	大学院生
植田 想	大学院生
櫻庭 陽子	大学院生

## 認知学習分野 Fax:0568-62-9552

正高 信男	教授
香田 啓貴	助教
早川 祥子	研究員 (グローバルCOE)
村井 勅裕	研究員 (グローバルCOE)
伊藤 亮	研究員 (グローバルCOE)
柴崎 全弘	学振特別研究員
石田 恵子	技術補佐員
加藤 朱美	技術補佐員

國枝 匠	技術補佐員
井田 美沙子	技術補佐員
道見 里美	技術補佐員
新谷 さとみ	事務補佐員
Helene Bouchet	外国人共同研究者
伊藤 祐康	大学院生
小川 詩乃	大学院生
清長 豊	大学院生
磯村 朋子	大学院生
佐藤 杏奈	大学院生
田中 美都	大学院生
山田 智子	大学院生

高次脳機能分野 Fax:0568-63-0563

中村 克樹	教授
宮地 重弘	准教授
泉 明宏	特定准教授(産官学連携)
脇田 真清	助教
倉岡 康治	特定助教(新学術領域研究)
山口 智恵子	研究員(産官学連携)
竹本 篤史	研究員(産官学連携)
木場 礼子	学振特別研究員
三輪 美樹	教務補佐員
藤田 恵子	技術補佐員
渡辺 智子	技術補佐員
鈴木 冬華	事務補佐員
石川 直樹	大学院生
鴻池 菜保	大学院生
瀬占 雅史	大学院生
菊池 瑛理佳	特別研究学生
堀田 英莉	特別研究学生

統合脳システム分野 Fax:0568-63-0416

高田 昌彦	教授
大石 高生	准教授
松本 正幸	助教
井上 謙一	特定助教(産官学連携)
二宮 太平	特定研究員(産官学連携)
高原 大輔	特定研究員(最先端・次世代研究)
笠原 洋紀	研究員(産官学連携)
松井 亮介	研究員(産官学連携)
黒田 呈子	研究員(科学研究)
梅村 真理子	技術補佐員
南雲 樹	技術補佐員
吉田 暖	技術補佐員
中嶋 久子	技術補佐員
檜垣 小百合	技術補佐員
後藤 有紀	事務補佐員
奥田 泰弘	大学院生

木村 活生	特別研究学生
川合 隆嗣	特別研究学生

遺伝子情報分野 Fax:0568-62-9557

平井 啓久	教授
今井 啓雄	准教授
郷 康広	助教
伯川 美穂	技術補佐員
平井 百合子	技能補佐員
袴田 好乃	事務補佐員
鈴木 南美	大学院生
早川 卓志	大学院生
Israt Jahan	大学院生

比較認知発達(ベネッセコーポレーション)  
研究部門(2011年8月末まで)

伊村 知子	特定助教(寄附研究部門)
奥村 由香利	事務補佐員
井田 美沙子	技術補佐員
道見 里美	技術補佐員

ボノボ(林原)研究部門(2011年8月末まで)

平田 聡	寄附研究部門客員准教授
山本 貞也	特定助教(寄附研究部門)

人類進化モデル研究センター Fax:0568-62-9559

平井 啓久	教授 センター長(併)~9月
岡本 宗裕	教授 センター長(併)10月~
明里 宏文	教授
鈴木 樹理	准教授
宮部 貴子	助教
早川 敏之	助教
吉田 友教	特定助教(産官学連携)
佐藤 英次	特定助教(研究開発施設共用)
齊藤 暁	特定研究員(厚生科研)
東濃 篤徳	特定研究員(厚生科研)
阿部 政光	技術専門職員
釜中 慶朗	技術専門職員
前田 典彦	技術専門職員
渡邊 朗野	技術職員
森本 真弓	技術職員
兼子 明久	技術職員
渡邊 祥平	技術職員
橋本 直子	技術職員
松井 淳	研究員(研究機関)
熊谷 かつ江	教務補佐員
齊藤 波子	教務補佐員
生駒 智子	教務補佐員

杉本 太郎	教務補佐員
安江 美雪	技術補佐員
石田 恵津子	技能補佐員
伊藤 和子	技能補佐員
江口 聖子	技能補佐員
大竹 公子	技能補佐員
萩野 奈美	技能補佐員
尾鷲 享子	技能補佐員
兼松 璃々子	技能補佐員
坂井 尚美	技能補佐員
佐々木 順子	技能補佐員
朱宮 幸子	技能補佐員
高木 朋子	技能補佐員
高瀬 こがみ	技能補佐員
津川 則子	技能補佐員
夏目 尊好	技能補佐員
長谷川 夕美子	技能補佐員
浜田 洋子	技能補佐員
福原 加奈絵	技能補佐員
藤森 唯	技能補佐員
前田 布美子	技能補佐員
武藤 久美	技能補佐員
山田 宜世子	技能補佐員
横江 実穂子	技能補佐員
吉田 美千子	技能補佐員
紀藤 咲子	事務補佐員
阿部 恵	事務補佐員
猪飼 良子	研究支援推進員
近藤 ひろ子	研究支援推進員
中川 千枝美	研究支援推進員
葉栗 和枝	研究支援推進員
古橋 保志	研究支援推進員
堀内 ゆかり	研究支援推進員
大堀 美佳	研究支援推進員

#### 国際共同先端研究センター

松沢 哲郎	センター長 (併)
Fred B Bercovitch	特定教授 (G30)
David A Hill	客員教授
足立 幾磨	助教
Michael Seres	特定研究員 (特別教育研究)
Andrew JJ MacIntosh	研究員 (特別教育研究)
西澤 和子	研究員 (特別教育研究)
南雲 純治	再雇用職員
早川 清治	再雇用職員
宿輪 マミ	特定職員
丹羽 美帆	特定職員

#### ヒト科3種比較研究プロジェクト

平田 聡	特定准教授 (特別教育研究)
山本 真也	特定助教 (特別教育研究)

#### 長期野外研究プロジェクト

松田 一希	特定助教 (特別教育研究)
坂巻 哲也	研究員 (特別教育研究)
伊左治 美奈	教務補佐員

#### 白眉プロジェクト

佐藤 弥	特定准教授 (白眉)
河内山 隆紀	特定研究員 (先端・次世代研究)
横山 絵美	教務補佐員
澤田 玲子	教務補佐員
井上 明美	事務補佐員
嶺本 和沙	オフィス・アシスタント

#### 事務部 Fax:0568-63-0085

八木 定行	事務長
-------	-----

#### 総務掛

小野 一代	掛長
原田 陽介	事務職員
石原 貴子	事務補佐員
大倉 貴子	事務補佐員
松澤 美津子	事務補佐員
宮下 真希	事務補佐員

#### 研究助成掛

上垣 泰浩	掛長
岩村 智	事務職員
石田 千佳	事務補佐員
小川 幸枝	事務補佐員
原田 重代	事務補佐員
三輪 恭子	事務補佐員
図書室	
高井 一恵	事務職員
池田 早苗	事務補佐員
坪内 寿美子	事務補佐員
宿泊棟	
内田 ひろみ	労務補佐員
柴田 敦子	労務補佐員
長房 美奈子	労務補佐員

#### 会計掛

川俣 昭	掛長
大池 勇司	事務職員
小野 範子	事務補佐員
栗木 節子	事務補佐員

多目的ホール	
橋本 恵美	労務補佐員
畑 美千代	労務補佐員
日比野 恵美子	労務補佐員
小島 和代	労務補佐員

#### 情報検索室

福富 憲司	
-------	--

#### (3) 大学院生

2011 年度 生物科学専攻（霊長類学・野生動物系）

氏名	学年	指導教員
石川 直樹	D3	中村 克樹 大石 高生
澤田 玲子 (H23.6.30 認定退学)	D3	正高 信男 高井 正成
鴻池 菜保	D3	宮地 重弘 大石 高生
伊藤 毅	D3	高井 正成 毛利 俊雄
澤田 晶子	D3	半谷 吾郎 高井 正成
兼子 峰明	D3	友永 雅己 宮地 重弘
狩野 文浩	D3	友永 雅己 橋本 千絵
Christopher Martin	D3	松沢 哲郎 MA Huffman
伊藤 祐康	D3	正高 信男 西村 剛
瀬占 雅史	D3	宮地 重弘 大石 高生
西岡 佑一郎	D2	高井 正成 平崎 鋭矢
山梨 裕美	D2	松沢 哲郎 鈴木 樹理 林 美里
大谷 洋介	D1	半谷 吾郎 川本 芳
小川 詩乃	D1	正高 信男 西村 剛
清長 豊	D1	正高 信男 西村 剛
鈴木 南美	D1	今井 啓雄 古賀 章彦
Yena Kim	D1	友永 雅己 MA Huffman
磯村 朋子	M2	正高 信男 脇田 真清
佐藤 杏奈	M2	正高 信男 西村 剛

早川 卓志	M2	今井 啓雄 友永 雅己
村松 明穂	M2	松沢 哲郎 香田 啓貴
兪 リラ	M2	友永 雅己 毛利 俊雄
原 暢	M1	古賀 章彦 平井 啓久
濱田 飛鳥	M1	半谷 吾郎 川本 芳
江島 俊	M1	古市 剛史 岡本 宗裕 橋本 千絵
徳山 奈帆子	M1	古市 剛史 今井 啓雄
柳 興鎮	M1	古市 剛史 古賀 章彦
韓 昭晶	M1	古市 剛史 古賀 章彦
R Sayuri Cicalise Takeshita	M1	MA Huffman 足立 幾磨
植田 想	M1	友永 雅己 大石 高生
櫻庭 陽子	M1	松沢 哲郎 鈴木 樹理 林 美里
田中 美都	M1	正高 信男 友永 雅己
山田 智子	M1	正高 信男 脇田 真清
奥田 泰弘	M1	高田 昌彦 平井 啓久
Israt Jahan	M1	平井 啓久 古賀 章彦

#### (4) 研究支援推進員

氏名	採用期間
猪飼 良子	2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日
葉栗 和枝	2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日
大堀 美佳	2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日
近藤 ひろ子	2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日
堀内 ゆかり	2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日
古橋 保志	2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日
中川 千枝美	2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日

## 2. 予算概況

### 予算概要

(金額の単位はすべて千円)

運営費交付金	人件費	527,495
	物件費	159,760
	物件費（特別経費）	203,746
	施設整備費補助金	0
	計	891,001
外 部 資 金	受託研究費（7件）	124,659
	共同研究費（3件）	12,038
	受託事業費（2件）	21,400
	文部科学省日本学術振興会科学研究費助成事業（71件）	236,357
	厚生労働省科学研究費補助金（3件）	37,000
	グローバル COE プログラム（1件）	18,770
	グローバル 30 プログラム（1件）	15,300
	ナショナル・バイオリソース・プロジェクト（2件）	61,600
	最先端研究開発戦略的強化費補助金（1件）	500,000
	若手研究者戦略的海外派遣事業費補助金（1件）	14,330
	科学技術総合推進費補助金（1件）	4,094
	研究者海外派遣基金助成金（1件）	25,796
	先端研究助成基金助成金（2件）	65,495
	寄附金（3件）	2,865
	間接経費、一般管理費等	66,787
	全学経費	6,145
	計	1,212,636
合 計		2,103,637

### (1) 2011 年度（平成 23 年度）受託研究費 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
受託研究費	大石高生	62,553,847	先端的遺伝子導入・改変技術による脳科学研究のための独自の霊長類モデルの開発と応用（遺伝子改変霊長類モデルの開発と高次脳機能の解析）
受託研究費	高田昌彦	11,500,000	中枢神経障害後の神経回路再編成と機能回復のメカニズムの解明（サルモデルによる皮質脊髄路の可塑性制御機構の検討）
受託研究費	高田昌彦	2,500,000	ドーパミンによる行動の発達と発現の制御機構（ドーパミンによる行動の発達と組織化のメカニズムのシステムの解析）
受託研究費	中村克樹	1,000,000	マーモセットの感覚・認知機能計測法の確立
受託研究費	古市剛史	45,139,231	高人口密度地域における孤立した霊長類個体群の持続的保護管理
受託研究費	中村克樹	385,000	読書及び学習の過程における幼児・児童の視線変化についての調査研究
受託研究費	古市剛史	1,580,880	The Bonobo Conservation Project: Working towards gazettelement of the Iyondji Community Bonobo Reserve in the Democratic Republic of Congo
合 計	7 件	124,658,958	

金額は、間接経費を除く

### (2) 2011 年度（平成 23 年度）共同研究費 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
共同研究費	中村克樹	2,000,000	霊長類を対象とした動作理解の比較研究
共同研究費	中村克樹	9,129,000	マーモセットの認知機能に関する行動薬理学的解析
共同研究費	明里宏文	909,000	サル類による HCV 感染・発症モデル動物の構築に関する研究平成 23 年度分
合 計	3 件	12,038,000	



### (3) 2011 年度（平成 23 年度）受託事業費 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
受託事業費	松沢哲郎	16,400,000	人類進化の霊長類的起源の解明に向けた若手研究者育成国際プログラム HOPE
受託事業費	古市剛史	5,000,000	ヒト科類人猿の環境適応機構の比較研究
合 計	2 件	21,400,000	

### (4) 2011 年度（平成 23 年度）文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
新学術領域研究	中村克樹	10,400,000	他者との相互作用を介した情報獲得メカニズムの解明
新学術領域研究	高田昌彦	4,500,000	運動障害と認知障害を切り分けるパーキンソン病のサーキットパソロジー
新学術領域研究	井上謙一	2,500,000	霊長類における神経路選択的な機能分子制御技術の開発
新学術領域研究	足立幾磨	2,600,000	顔知覚様式の霊長類的基盤への比較発達学的アプローチ
新学術領域研究	伊村知子	2,300,000	チンパンジーとヒトにおける質感情報処理に関する実験的検討
研究分担 (新学術領域)	河内山隆紀	1,000,000	旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成
特別推進研究	松沢哲郎	67,100,000	認知発達の霊長類的基盤
基盤研究(S)	高田昌彦	24,000,000	神経路選択的の活動抑制とトレーニングによる大脳ネットワークの構築と機能の解明
基盤研究(S)	友永雅己	35,500,000	海のこころ、森のこころ—鯨類と霊長類の知性に関する比較認知科学—
研究分担(基盤 S)	平田 聡	1,000,000	意識・内省・読心—認知的メタプロセスの発生と機能
基盤研究(A)	平井啓久	7,100,000	ゲノム不毛地帯 (RCRO) の進化と意義
基盤研究(A)	濱田 穰	6,000,000	アジア大陸部におけるマカクの進化地理学：移住と多様化の解明
基盤研究(A)	古市剛史	6,500,000	ヒト科における攻撃性と抑制のメカニズムの進化：Pan 属の集団間・集団内交渉の分析
研究分担(基盤 A)	鈴木樹理	1,000,000	長寿と適応のホミニゼーション
研究分担(基盤 A)	橋本千絵	1,200,000	アフリカ産オナガザル科霊長類の生存戦略と形態の関連
研究分担(基盤 A)	岡本宗裕	1,000,000	世界におけるエキノコックス、テニア条虫の種分化、分子共進化研究
研究分担(基盤 A)	今井啓雄	100,000	霊長類の自然集団に注目した感覚関連遺伝子の多様性の探索と適応進化の検証
研究分担(基盤 A)	川本 芳	650,000	熱帯高地環境における家畜化・牧畜成立過程に関する学際的研究—アンデスを中心に—
基盤研究(B)	今井啓雄	2,800,000	ゲノム多様性を基盤とした霊長類の種内・種間感覚特性の解明
基盤研究(B)	高井正成	3,200,000	東ユーラシアにおける新生代後半の霊長類進化に関する古生物学的研究
基盤研究(B)	平井啓久	2,500,000	テナガザル類の多様性と系統生物地理学
基盤研究(B)	岡本宗裕	3,200,000	テニア科条虫幼虫感染家畜個体の識別に有用な新しい技術開発とリスクの評価への応用
基盤研究(B)	平田 聡	1,987,405	大型類人猿の他者理解と自己理解に関する比較アイトラッキング研究
基盤研究(B)	江木直子	3,000,000	絶滅哺乳類肉歯目の系統的位置と地理的分布についての研究
研究分担(基盤 B)	平田 聡	100,000	胎児期からのコミュニケーション—聴覚経験とクロスモダル知覚の比較発達研究
研究分担(基盤 B)	平崎鋭矢	320,000	ボノボを中心とするヒト上科霊長類の筋骨格構造から読み解く環境適応
研究分担(基盤 B)	江木直子	150,000	ボノボを中心とするヒト上科霊長類の筋骨格構造から読み解く環境適応
研究分担(基盤 B)	川本 芳	592,000	キツネザル類の生活史の進化に関する社会生態学的・遺伝学的研究
研究分担(基盤 B)	香田啓貴	1,700,000	ヒトとサルにおける行動伝染と模倣の起源に関する実験的研究
研究分担(基盤 B)	正高信男	500,000	発達障害における脆弱性と回復性の検討と、それに応ずる個別支援法の開発
研究分担(基盤 B)	MA Huffman	500,000	森林発生人獣共通マラリアの生態学社会学的研究
基盤研究(C)	高井正成	500,000	第四紀のニホンザルの進化に関する古生物学的研究
基盤研究(C)	明里宏文	700,000	新規霊長類モデルを用いた急性慢性 C 型肝炎における自然免疫の意義に関する研究



基盤研究(C)	宮地重弘	1,000,000	巧緻な運動制御の基盤となる運動関連皮質の生後発達の神経解剖・神経生理学的研究
基盤研究(C)	川本 芳	1,200,000	ヒマラヤ山地・インド亜大陸・スリランカ島嶼におけるマカクの系統地理と分類
研究分担(基盤 C)	橋本裕子	110,000	韓国出土古人骨の形質人類学的研究
基盤研究(C)	大石高生	2,000,000	霊長類脳部位特異的転写因子の発現解析
基盤研究(C)	早川敏之	1,700,000	ヒト特異的な発現・機能の変化を示すシアル酸受容体 Siglec-11 の進化
基盤研究(C)	吉田友教	2,000,000	野生大型霊長類における人獣共通感染症の特定とリスクアセスメントに関する研究
挑戦的萌芽研究	友永雅己	1,300,000	比較認知ゲノム科学の確立に向けてー比較認知科学と比較ゲノム科学のクロストークー
挑戦的萌芽研究	井上謙一	1,200,000	改変狂犬病ウイルスベクターによる新しい神経回路トレーシング手法の開発
挑戦的萌芽研究	中村克樹	1,400,000	セロトニン欠乏法による霊長類うつ病モデル作出の試み
研究分担 (挑戦的萌芽研究)	岡本宗裕	200,000	多包虫症に関する非開腹的治療法への挑戦と評価法の開発
挑戦的萌芽研究	正高信男	700,000	発達障害の強み (strength) の実験的検証
挑戦的萌芽研究	半谷吾郎	2,400,000	ニホンザルのキノコ食を通じた菌類の胞子散布機構の解明
挑戦的萌芽研究	古賀章彦	1,700,000	ヒトでの構成的ヘテロクロマチンの消失：機構解明へ向けた痕跡部分の構造解析
若手研究(A)	半谷吾郎	2,000,000	東南アジア熱帯林での一斉結実に対する大型動物の反応
若手研究(B)	村井勲裕	446,451	無人島に移入されたテングザル個体群と野生個体群の保全に関する研究
若手研究(B)	足立幾磨	800,000	社会的認知能力への比較認知的アプローチ
若手研究(B)	泉 明宏	900,000	霊長類の音声交換における時間的規則性の研究
若手研究(B)	東濃篤徳	900,000	霊長類におけるストレス蛋白質の解析
若手研究(B)	郷 康広	1,700,000	ヒトとチンパンジーの比較トランスクリプトーム・メチローム研究
若手研究(B)	辻 大和	1,300,000	大型哺乳類による種子散布特性の地域間比較：マカク属の霊長類を対象に
若手研究(B)	伊村知子	1,000,000	霊長類における視覚情報の時間的統合過程に関する比較認知発達の検討
若手研究(B)	林 美里	1,000,000	物の操作から見たヒトを含む霊長類の比較認知発達
若手研究(B)	松井 淳	1,800,000	霊長類における感覚受容体遺伝子の起源と環境応答の進化
研究活動スタート支援	山本真也	1,140,000	チンパンジーとボノボにおける利他性・互恵性・他者理解の検討
研究活動スタート支援	倉岡康治	1,060,000	ヒトを含む霊長類における社会的パートナー選択についての種間比較とその脳神経基盤
特別研究員奨励費	狩野文浩	700,000	チンパンジーの情動行動に関する比較認知・行動学的研究
特別研究員奨励費	兼子峰明	700,000	チンパンジーにおける「行為する自己」の認識ー自己認識の比較認知的研究
特別研究員奨励費	伊藤祐康	700,000	読み書きに関する学習困難に対応した e ラーニングによる療育とその実証的評価法の構築
特別研究員奨励費	香田(木場) 礼子	1,000,000	霊長類における性の認知と性ホルモンの影響
特別研究員奨励費	鴻池菜保	301,544	霊長類のリズム制御における神経メカニズムの解明
特別研究員奨励費	山梨裕美	700,000	チンパンジーの行動に基づいた性格評定方法の開発と遺伝的基盤の検討
特別研究員奨励費	澤田晶子	700,000	屋久島におけるキノコの多様性とニホンザルの食嗜好性についての進化生態学的研究
特別研究員奨励費	伊藤 毅	700,000	霊長類における頭骨形態の気候環境適応
特別研究員奨励費	松田一希	800,000	霊長類社会の重層構造の解明：テングザルの種内変異
特別研究員奨励費	大谷洋介	700,000	ニホンザル雄と群れの空間配置と採食、繁殖戦略
特別研究員奨励費	小川詩乃	700,000	発達障害の認知的特性の解明と支援方法の検討
特別研究員奨励費	柴崎全弘	600,000	ヒトの不安障害のメカニズム解明に向けた動物モデルの構築
特別研究員奨励費	CD Dahl	900,000	チンパンジーにおける顔認識およびコミュニケーション信号の処理の解明に向けて
合 計	71 件	236,357,400	

※金額は、間接経費を除く

(5) 2011 年度（平成 23 年度）厚生労働省科学研究費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
難治・一般	高田昌彦 (分担)	1,000,000	アイカルディ-ゴーティエ症候群等のビオプテリン代謝異常を伴う疾患の診断方法確立および治療法開発のための横断的研究
肝炎・一般	明里宏文 (分担)	12,000,000	肝炎ウイルスワクチン実用化のための基礎的研究
政策創薬・一般	明里宏文	24,000,000	HIV-1 感染・発症霊長類モデル研究：宿主内因性及び獲得免疫解析に基づく前臨床評価システムの最適化
合 計	3 件	37,000,000	

※金額は、間接経費を除く

(6) 2011 年度（平成 23 年度）研究拠点形成費等補助金《グローバル COE プログラム》内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
グローバル COE プログラム	正高信男	18,770,000	生物多様性と進化研究のための拠点形成
合 計	1 件	18,770,000	

※直接経費のみ

(7) 2011 年度（平成 23 年度）国際化拠点整備事業費補助金《グローバル 30 プログラム》内訳一覧

事業名称	コース長	金 額	コ ー ス 名
京都大学次世代地球社会リーダー育成プログラム (K.U.PROFILE)	松沢哲郎	15,300,000	国際霊長類学・野生動物コース
合 計	1 件	15,300,000	

※直接経費のみ

(8) 2011 年度（平成 23 年度）

研究開発施設共用等促進費補助金《ナショナル・バイオリソース・プロジェクト》内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
NBR	岡本宗裕	52,000,000	大型飼育施設でのニホンザルの繁殖・育成事業
GAIN (大型類人猿情報ネットワーク) の活動	松沢哲郎	9,600,000	大型類人猿の情報整備とネットワークづくり
合 計	2 件	61,600,000	

※直接経費のみ

(9) 2011 年度（平成 23 年度）最先端研究開発戦略的強化費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
最先端研究基盤事業	松沢哲郎	500,000,000	心の先端研究のための連携拠点 (WISH) 構築
合 計	1 件	500,000,000	

※直接経費のみ

(10) 2011 年度（平成 23 年度）若手研究者戦略的海外派遣事業費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
頭脳循環を加速する若手研究者海外派遣プログラム	平井啓久	14,330,000	人間らしさの霊長類的起源をさぐる戦略的国際共同先端研究
合 計	1 件	14,330,000	

※金額は、事業管理経費を除く

(11) 2011 年度（平成 23 年度）科学技術総合推進費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
国際共同研究の推進	岡本宗裕	4,093,780	難治性寄生虫病に関する遺伝子診断法の開発
合 計	1 件	4,093,780	

※金額は、環境改善費を除く

(12) 2011 年度（平成 23 年度）研究者海外派遣基金助成金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
組織的な若手研究者等海外派遣プログラム	松沢哲郎	25,795,787	人間の本性の進化的起源に関する先端研究 (AS-HOPE)
合 計	1 件	25,795,787	

※金額は、一般管理費を除く

(13) 2011 年度（平成 23 年度）先端研究助成基金助成金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
最先端・次世代研究開発支援プログラム	松本正幸	42,745,000	意欲を生み出す神経メカニズムの解明：前頭前野への中脳ドーパミン入力の影響
最先端・次世代研究開発支援プログラム	佐藤 弥	22,750,000	広汎性発達障害における対人相互作用障害の心理神経基盤の統合的解明
合 計	2 件	65,495,000	

※金額は、間接経費を除く

(14) 2011 年度（平成 23 年度）寄附金 内訳一覧

寄附金名称等	研究代表者	金 額	寄 附 の 目 的
旭硝子財団	西村 剛	2,000,000	人間の呼吸機能の進化と第一次出アフリカに関する研究
高梨学術奨励基金	橋本裕子	285,000	韓国・金官伽耶遺跡群の血縁関係を下顎骨と歯から推測する
藤原ナチュラリスト財団	松田一希	580,092	ボルネオ産霊長類の生活史研究：一斉開花が繁殖に与える影響
合 計	3 件	2,865,092	

※寄附金額は、全学共通経費（2%）および部局中央管理費（3%）を控除した金額

### 3. 図書

霊長類学の研究成果を網羅する方針で図書を収集しています。特に霊長類学関連論文の別刷は 85,000 点に達し、『霊長類学別刷コレクション』として閲覧に供しています。書籍については全所員からの推薦を受け付け、選定の参考にしています。

(1) 蔵書数（2012 年 3 月末現在）

和書：7,835 冊（製本雑誌も含む）

洋書：17,746 冊（製本雑誌も含む）

和雑誌・中国雑誌：147 誌

洋雑誌：372 誌

紀要類：650 誌

霊長類学関連別刷（霊長類学別刷コレクション）：85,000 点

(2) 資料の所蔵検索

図書室で所蔵している図書・雑誌はすべて【京都大学蔵書検索 KULINE】で検索できます。

【京都大学蔵書検索 KULINE】にアクセスし、[詳細検索画面]－[所蔵館]の欄で[(82)霊長研]を選択すると、霊長類研究所の蔵書のみヒットします。

詳しくは京都大学図書館機構のホームページをご覧ください。<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

霊長類学関連別刷（霊長類学別刷コレクション）は【霊長類学文献索引データベース】で検索できます。

霊長類研究所ホームページの topics【霊長類学文献索引データベース】をご覧ください。

<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/cgi-bin/library/books.cgi>

### (3) 霊長類研究所図書室利用規程

#### I. 開室時間と休室

1. 開室時間：平日 9 時から 17 時まで。
2. 休室：土曜日、日曜日、国民の祝祭日、年末・年始。その他の臨時休室は、その都度掲示する。

#### II. 閲覧

##### 1. 閲覧者の資格

- 1) 本研究所の所員。
- 2) 本研究所の共同利用研究員。
- 3) 1)、2)以外の、京都大学に所属する者で、所属部局の図書施設もしくは附属図書館の紹介のある者。
- 4) その他一般利用者。

##### 2. 閲覧

- 1) 閲覧は所定の場所で行わなければならない。
- 2) 次の各号に掲げる場合においては閲覧を制限することができる。
  - (1) 当該資料に独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律（平成 13 年法律第 140 号、以下「情報公開法」という。）第 5 条第 1 号、第 2 号及び第 4 号イに掲げる情報が記録されていると認められる場合における当該情報が記録されている部分。
  - (2) 当該資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に個人又は情報公開法第 5 条第 2 号に規定する法人等から寄贈又は寄託を受けている場合における当該期間が経過するまでの間。
  - (3) 当該資料の原本を利用させることにより当該原本の破損若しくはその汚損を生じるおそれがある場合又は当該資料が現に使用されている場合。

#### III. 貸出及び返却

1. II の 1 の 1) の該当者及び、2) のうち予め利用者カードを提出した者は、下記に従い図書を借用できる。  
すべての借用資料は、原則として所外に持ち出すことはできない。
  - 1) 借用資料の種類と借用方法
    - a. 単行本
      - (i) 単行本は 1 ヶ月間借用できる。
      - (ii) 借用時には、ブックカード及び代本板用紙に必要事項を記入する。ブックカードは所定の箱に入れ、代本板用紙は代本板の背に挿入して、書架上の本のあった位置に置く。
    - b. 製本雑誌
      - (i) 製本雑誌は 3 日間借用できる。
      - (ii) 借用方法は単行本に準じる。
    - c. 未製本雑誌
      - (i) 未製本の雑誌は 15 時から翌朝 10 時までの間に限り借用できる。
      - (ii) 借用時には貸出カードに必要事項を記入する。
    - d. 別刷
      - (i) 別刷は開室時間中に図書室内でのみ利用できる。
      - (ii) 利用後は、返却台の箱に返却する。
    - e. 他機関からの借用資料
      - (i) 他機関からの借用資料は、開室時間中の図書室内での利用に限る。
      - (ii) 利用後は図書係員に返却する。
  - 2) 参考図書その他禁帯出扱いの図書は貸出さない。
  - 3) 借用中の資料を転貸してはならない。
  - 4) 再手続きをすることにより貸出期限の延長ができる。  
ただし、他に借用希望者がある時は、他を優先する。
  - 5) 借用後の図書は返却台に返却する。
2. II の 1 の 3) の該当者は、所属部局の図書施設もしくは附属図書館を通じて借用を依頼することができる。
  - 1) 借用資料は単行本のみで、所属部局図書施設内もしくは附属図書館内での利用に限る。
  - 2) 借用期限は 2 週間とするが、本研究所員からの要請があった場合には、借用期限内であっても、速や

かに返却することとする。

#### IV. 総点検及び長期貸出

1. 定期的に図書の総点検を行う。この時は、貸出期限内外を問わず、すべての図書を返却する。
2. 総点検期間中、図書室を休室とすることがある。
3. 図書委員会により研究室等への備え付けが認められた時は、長期貸出扱いとする。長期貸出期間は1年で、長期貸出扱いの更新は総点検時に行う。

#### V. 個人情報漏えい防止のために必要な措置

1. 図書室は、図書室資料に個人情報（生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む）をいう）が記録されている場合には、当該個人情報の漏えいの防止のために次の各号に掲げる措置を講じるものとする。
  - 1) 書庫の施錠その他の物理的な接触の制限
  - 2) 図書室資料に記録されている個人情報に対する不正アクセス（不正アクセス行為の禁止等に関する法律（平成11年法律第128号）第3条第2項に規定する不正アクセスをいう）を防止するために必要な措置
  - 3) 図書室の職員に対する教育・研修の実施
  - 4) その他当該個人情報の漏えいの防止のために必要な措置

#### VI. その他

1. 図書室資料の目録及びこの図書室利用規程については常時図書室に備え付ける。
2. 資料を紛失したり汚損した場合は、代本または相当の代金で補わなければならない。
3. 借用資料を期日までに返却しなかった場合、以後の貸出を一定期間停止されることがある。
4. 図書室内（書庫を含む）は禁煙とする。

附則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

## 4. サル類飼育頭数・動態

### 2011年度（平成23年度）末 飼育頭数

種 名	頭 数
コモンマーモセット	131
ワタボウシタマリン	21
ヨ ザ ル	15
フサオマキザル	9
ケナガクモザル	1
ニ ホ ン ザ ル	356
ニ ホ ン ザ ル (NBR)*	345
ア カ ゲ ザ ル	219
タイワンザル	4

種 名	頭 数
ボンネットザル	3
カ ニ ク イ ザ ル	23
マ ン ト ヒ ヒ	3
アジルテナガザル	3
チ ン パ ン ジ ー	14
合 計	1147

\*NBR（「ニホンザル」バイオリソース）プロジェクトで飼育しているもの

2011 年度（平成 23 年度）サル類動態表

区 分  種 名	増 加			減 少（死亡など）											増 減	
	出 産	導 入	小 計	実 験 殺	事 故 死	外 傷 死	呼 吸 器 系 疾 患	消 化 器 系 疾 患	感 染 症	泌 尿 器	衰 弱	そ の 他 *	剖 検 不 能	所 外 供 給		小 計
コモンマーモセット	46		46	11	2	2					8	2			25	21
ニホンザル	42	10	52	42	1			4	1			14		10	72	-20
ニホンザル(NBR)	71		71	5		1	1	2			3	24		46	82	-11
アカゲザル	35		35	22		1	1	1				3			28	7
カニクイザル	4		4	7								1			8	-4
ボンネットザル				4											4	-4
小 計	198	10	208	91	3	4	2	7	1	0	11	44		56	219	-11
合 計	208			219											-11	

\*血小板減少症関連の死亡・安楽殺を含む

## 5. 資料

所蔵する資料は、骨格標本、液浸標本、化石模型、遺伝子試料、CT 画像などからなり、外部の研究者にも基本的にすべて公開されている。資料試料の多くはデータベース化されており、資料委員会の許可にもとづいて利用希望者に提供され、研究遂行上の必要に応じて貸し出しもおこなっている。

### (1) 骨格標本（表 1、2）

資料委員会のデータベース（PRISK）に登録された霊長類骨格標本は 8,600 点を超える（表 1）。特にニホンザルの標本は所内飼育・野生由来個体をあわせて 3,000 点以上を数え、世界的に見ても稀なコレクションである。霊長類以外にも、データベース（PRISK-Z）には約 1,700 点の獣骨標本が登録されている（表 3）。特に、日本産タヌキやテン、ツキノワグマの標本数は世界有数であり、日本産野生哺乳類が減っている現在、これらは貴重な資料と言える。標本は種ごとに分類され、種内では標本番号にしたがって配列されている。利用希望者は、新棟 4 階資料室のコンピューター上に置かれた標本データベースから標本番号、属名、種名、登録日、性別、体重、座高、前胴長などの情報を検索することができる。

### (2) 液浸標本（表 1、3）

本棟地下及び栗栖地区の液浸資料室に各種霊長類のホルマリンもしくはアルコールで固定された液浸標本が約 1,000 点保管されている（表 1）。霊長類以外の液浸標本も約 200 点ある（表 3）。筋骨格系の割合が高いが、脳や臓器の標本も含む。平成 21 年度から液浸標本のデータベース化を行い、PRISK および PRISK-Z での検索が可能になった。このように大規模な液浸標本資料は世界的に見ても稀有であり、貴重なコレクションである。

### (3) 化石模型

人類および中新世ホミノイドを中心に 495 点の化石模型がデータベース（PRICAST）に登録されている。

### (4) 霊長類分子生物学用試料（表 4）

平成 21 年度より大型類人猿ネットワーク（GAIN）の情報を通じて譲渡を受けた類人猿臓器試料や、研究所内で多重利用の対象となった試料の一部（旧世界ザル、新世界ザル等）を資料委員会が保管管理している。これらは RNAlater 処理試料や凍結試料が主である。譲渡契約等の関係から、原則として利用は所員と共同利用研究員に限定しているので、利用希望者は関係所員に問い合わせいただきたい。現在データベース化を進めている。



## (5) CT 画像

所蔵標本の CT 画像データのデータベース化を進め、Web 上の Digital Morphology Museum (<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/dmm/WebGallery/Index.html>) を介して、画像データを国内外の多くの研究者に提供している。

## (6) その他

霊長類研究所資料委員会では、国内外の多くの研究者がこれらの資試料を利用して研究を進めることを希望しており、そのために、毎年 200 点以上の新たな標本の受け入れと作製を行い、資試料の充実に努めている。また、所蔵資試料のデータベース化など利用環境の整備も行っている。骨格・液浸標本の利用手続きは、非破壊的な使用目的の場合は比較的簡便で、標本の破壊・破損を伴う研究であっても、資料委員会への十分な説明とそれに基づく審査を経た上で可能な場合もある。まずは資料委員会まで連絡されたい。資試料には学外施設から譲渡された貴重なものも含まれる。利用規約や契約等の遵守も協力していただくようお願いする。

備考：資料委員会では資試料の一層の充実に図るため、野外調査などを行う方々に標本資料採集への協力をお願いしております。また、諸事情から管理困難となった標本の取り扱いや、他機関所蔵の資料との交換についての相談も受けます。これらに関するご連絡は、資料委員会までお願いいたします。

(平成 24 年度連絡先：今井啓雄 [siryou \[at\] pri.kyoto-u.ac.jp](mailto:siryou@pri.kyoto-u.ac.jp))

(文責：平崎鋭矢)

## 2011 年度（平成 23 年度）所蔵資試料

表 1 霊長類骨格および液浸標本

和名	学名	骨格	液浸
ホミノイド	<b>Hominoidea</b>	<b>102</b>	<b>100</b>
テナガザル属	<i>Hylobates</i> spp.	61	48
チンパンジー属	<i>Pan troglodytes</i>	33	46
ゴリラ属	<i>Gorilla gorilla</i>	7	3
オランウータン属	<i>Pongo pygmaeus</i>	1	3
旧世界ザル	<b>Cercopithecoidea</b>	<b>6917</b>	<b>599</b>
マカク属	<i>Macaca</i> spp.	5191	452
コノハザル属	<i>Presbytis</i> spp.	177	25
ラングール属	<i>Trachypithecus cristata</i>	8	-
コロブス属	<i>Colobus</i> spp.	366	9
メンタワイシシバナザル属	<i>Simias concolor</i>	132	-
テングザル属	<i>Nasalis larvatus</i>	-	1
グエノン属	<i>Cercopithecus</i> spp.	573	66
パタス属	<i>Erythrocebus patas</i>	18	7
マンガベイ属	<i>Cercocebus</i> spp.	16	4
ゲラダヒヒ属	<i>Theropithecus gelada</i>	3	4
ヒヒ属	<i>Papio</i> spp.	415	27
マンドリル属	<i>Mandrillus</i> spp.	18	3
コロブス亜科属不明	Colobinae indet.	-	1
新世界ザル	<b>Ceboidea</b>	<b>1479</b>	<b>227</b>
リスザル属	<i>Saimiri sciureus</i>	994	63
ヨザル属	<i>Aotus trivirgatus</i>	62	21
ティティ属	<i>Callicebus</i> spp.	52	3
ホエザル属	<i>Alouatta</i> spp.	51	4
クモザル属	<i>Ateles</i> spp.	14	12
ウーリークモザル属	<i>Brachyteles</i> spp.	3	-
ウーリーモンキー属	<i>Lagothrix</i> spp.	17	2
オマキザル属	<i>Cebus</i> spp.	93	30
サキ属	<i>Pithecia</i> spp.	16	2

ウアカリ属	<i>Cacajao calvus</i>	1	-
ゲルディモンキー属	<i>Callimico goeldi</i>	1	-
ビグミーマーモセット属	<i>Cebuella pygmaeus</i>	7	8
マーモセット属	<i>Callithrix</i> spp.	64	19
タマリン属	<i>Saguinus</i> spp.	98	62
ライオンタマリン属	<i>Leontopithecus rosalia</i>	6	-
マーモセット科属不明	Callitrichidae indet.	-	1
原猿類およびツパイ類	<b>Prosimii + Scandentia</b>	<b>105</b>	<b>101</b>
ツパイ属	<i>Tupaia</i> spp.	47	12
オオツパイ属	<i>Lyonogale</i> spp.	1	-
キツネザル属	<i>Lemur</i> spp.	16	11
エリマキキツネザル属	<i>Varecia</i> spp.	4	3
ネズミキツネザル属	<i>Microcebus</i> spp.	-	1
イタチキツネザル属	<i>Lepilemur mustelinus</i>	1	-
シファカ属	<i>Propithecus verreauxi</i>	2	-
スローロリス属	<i>Nycticebus</i> spp.	13	21
ポットー属	<i>Perodicticus</i> spp.	1	1
ロリス属	<i>Loris</i> spp.	1	2
ガラゴ属	<i>Galago</i> spp.	16	41
メガネザル属	<i>Tarsius</i> spp.	1	1
キツネザル上科属不明	Lemuroidea indet.	-	5
曲鼻猿類属不明	Strepsirrhini indet.	-	3
種不明	<b>unidentifiable</b>	<b>-</b>	<b>9</b>
総計	<b>Total</b>	<b>8603</b>	<b>1036</b>

表 2 霊長類以外の骨格標本

和名[目・科]	Taxa [order/genus]	標本数
食肉目	<b>Carnivora</b>	<b>1003</b>
レッサーパンダ科(1) <i>Ailurus</i> ; イヌ科(547) <i>Canis</i> , <i>Nyctereutes</i> , <i>Vulpes</i> ; イタチ科(229) <i>Martes</i> , <i>Meles</i> , <i>Mustela</i> , <i>Pteronura</i> ; アシカ科(16) <i>Callorhinus</i> , <i>Eumetopias</i> ,		



Zalophus; アライグマ科(7) <i>Procyon</i> ; クマ科(137) <i>Helarctos</i> , <i>Melursus</i> , <i>Selenarctos</i> , <i>Ursus</i> ; ネコ科(40) <i>Felis</i> , <i>Neofelis</i> , <i>Panthera</i> ; マングース科(4) <i>Crossarchus</i> , <i>Mungos</i> , <i>Suricata</i> ; ジャコウネコ科(23) <i>Artictis</i> , <i>Paguma</i> , <i>Viverricula</i>		
奇蹄目	<b>Perissodactyla</b>	<b>10</b>
ウマ科(8) <i>Equus</i> ; バク科(2) <i>Tapirus</i>		
鯨偶蹄目	<b>Cetartiodactyla</b>	<b>457</b>
イノシシ科(346) <i>Sus</i> ; ペッカリー科(3) <i>Tayassu</i> ; ウシ科(53) <i>Ammodontomys</i> , <i>Antelope</i> , <i>Bos</i> , <i>Buvalus</i> , <i>Capra</i> , <i>Capricornis</i> , <i>Cephalophus</i> , <i>Ovis</i> ; シカ科(43) <i>Cervus</i> , <i>Hydropotes</i> , <i>Muntiacus</i> ; マイルカ科(9) <i>Delphinidae</i> indet.; 科不明/Family indet. (3)		
トガリネズミ目	<b>Soricomorpha</b>	<b>48</b>
トガリネズミ科(39) <i>Crociodura</i> , <i>Suncus</i> ; モグラ科(9) <i>Euscaptor</i> , <i>Mogera</i> , <i>Urotrichus</i>		
翼手目	<b>Chiroptera</b>	<b>4</b>
オオコウモリ科(1) <i>Pteropus</i> ; キクガシラコウモリ科(1) <i>Rhinolophus</i> ; 科不明/Family indet. (2)		
皮翼目	<b>Dermoptera</b>	<b>2</b>
ヒョケザル科(2) <i>Cynocephalus</i>		
齧歯目	<b>Rodentia</b>	<b>130</b>
ヤマネ科(1) <i>Glirulus</i> ; リス科(45) <i>Callosciurus</i> , <i>Eutamias</i> , <i>Petaurista</i> , <i>Sciurus</i> , <i>Spermophilus</i> ; ネズミ科(65) <i>Apodemus</i> , <i>Cricetomys</i> , <i>Microtus</i> , <i>Mus</i> , <i>Rattus</i> ; パカ科(2) <i>Agouti</i> ; テンジクネズミ科(3) <i>Cavis</i> , <i>Dolichotis</i> ; オマキヤマアラシ科(1) <i>Coendou</i> ; カピバラ科(1) <i>Hydrochoerus</i> ; ヤマアラシ科(2) <i>Atherurus</i> , <i>Hystrix</i> ; スートリア科(6) <i>Myocastor</i> ; 科不明/Family indet. (4)		
ウサギ目	<b>Lagomorpha</b>	<b>15</b>
ウサギ科(13) <i>Lepus</i> ; ナキウサギ科(2) <i>Ochotona</i>		
異節目	<b>Xenarthra</b>	<b>2</b>
フタユビナマケモノ科(2) <i>Choloepus</i>		
アフリカトガリネズミ目 <b>Afrosoricida</b>		<b>1</b>
テンレック科(1) <i>Echinops</i>		
岩狸目	<b>Hyracoidea</b>	<b>1</b>
イワダヌキ科(1) <i>Procavia</i>		
長鼻目	<b>Proboscidea</b>	<b>2</b>
ゾウ科(2) <i>Elephas</i> , <i>Loxodonta</i>		
有袋目	<b>Marsupialia</b>	<b>10</b>
オポッサム科(3) <i>Didelphis</i> ; カンガルー科(2) <i>Macropus</i> ; クスクス科(4) <i>Phalanger</i> , <i>Trichosurus</i> ; ウォンバット科(1) <i>Vombatus</i>		
哺乳類・計	<b>Mammalia total</b>	<b>1685</b>
鳥類	<b>Aves</b>	<b>15</b>
Phoenicopteriformes [フラミンゴ類] (3) indet.; Columbiformes [ハト類] (2) <i>Columba</i> ; Falconiformes [タカ類] (2) <i>Butastur</i> , <i>Milvus</i> ; Galliformes [キジ類] (4) <i>Bambusicola</i> , <i>Gallus</i> ; Passeniformes [スズメ類] (4) <i>Zoothera</i> , <i>Passer</i> , <i>Strunus</i>		
爬虫類	<b>Reptilia</b>	<b>6</b>
Cheloniidae [ウミガメ類] (3) <i>Caretta</i> , <i>Chelonia</i> ; Alligatoridae [アリゲーター類] (1) indet.; Boidae [ボア類] (2) <i>Eunectes</i>		

魚類	<b>Pisces</b>	<b>1</b>
Perciformes [スズキ類] (1) <i>Lateolabrax</i>		
総計	<b>Total</b>	<b>1707</b>

表 3 霊長類以外の液浸資料

和名[目・科]	Taxa [order/genus]	標本数
食肉目	<b>Carnivora</b>	<b>68</b>
レッサーパンダ科(1) <i>Ailurus</i> ; イヌ科(4) <i>Canis</i> , <i>Urocyon</i> ; イタチ科(33) <i>Martes</i> , <i>Mustela</i> ; アシカ科(1) <i>Otariidae</i> indet.; クマ科(10) <i>Selenarctos</i> ; ネコ科(3) <i>Felis</i> ; ジャコウネコ科(4) <i>Artictis</i> , <i>Paguma</i> ; 科不明/Family indet.(12)		
偶蹄目	<b>Artiodactyla</b>	<b>1</b>
ウシ科(1) <i>Capricorni</i>		
トガリネズミ目	<b>Soricomorpha</b>	<b>9</b>
トガリネズミ科(7) <i>Sorex</i> , <i>Suncus</i> ; モグラ科(2) <i>Mogera</i> , <i>Urotrichus</i>		
翼手目	<b>Chiroptera</b>	<b>4</b>
オオコウモリ科(4) <i>Roussetus</i>		
齧歯目	<b>Rodentia</b>	<b>108</b>
リス科(1) <i>Sciuridae</i> indet.; ネズミ科(106) <i>Clethrionomys</i> , <i>Rattus</i> ; スートリア科(1) <i>Myocastor</i>		
ウサギ目	<b>Lagomorpha</b>	<b>1</b>
ウサギ科(1) <i>Leporidae</i> indet.		
アフリカトガリネズミ目 <b>Afrosoricida</b>		<b>1</b>
テンレック科(1) <i>Tenrecidae</i> indet.		
有袋目	<b>Marsupialia</b>	<b>4</b>
カンガルー科(1) <i>Macropodidae</i> indet.; フクロモモンガ科(1) <i>Petaurus</i> ; クスクス科(2) <i>Trichosurus</i>		
哺乳類・計	<b>Mammalia total</b>	<b>196</b>
鳥類 <b>Aves (1)</b>	Galliiformes - <i>Gallus</i> [ニワトリ]	
爬虫類 <b>Reptilia (1)</b>	Squamata indet. [トカゲ]	
総計	<b>Total</b>	<b>198</b>

表 4 霊長類分子生物学用試料

和名	学名	個体数
ホミノイド	<b>Hominoidea</b>	<b>27</b>
チンパンジー属	<i>Pan troglodytes</i>	17
ゴリラ属	<i>Gorilla gorilla</i>	4
オランウータン属	<i>Pongo pygmaeus</i>	4
テナガザル属	<i>Hylobates lar</i>	1
フクロテナガザル属	<i>Symphalangus syndactylus</i>	1
旧世界ザル	<b>Cercopithecoidea</b>	<b>9</b>
マカク属	<i>Macaca</i> spp.	7
グエノン属	<i>Cercopithecus</i> spp.	1
ヒヒ属	<i>Papio</i> spp.	1
新世界ザル	<b>Ceboidea</b>	<b>12</b>
マーモセット属	<i>Callithrix</i> spp.	10
タマリン属	<i>Saguinus</i> spp.	1
リスザル属	<i>Saimiri sciureus</i>	1

## 6. 人事異動

所属分野等	職名	異動		内容	備考
		氏名	年月日		
遺伝子情報分野	副所長	平井 啓久	2011/4/1	併任	任期は 2012/3/31 まで
国際共同先端研究センター	特定職員	丹羽 美帆	2011/4/1	採用	
国際共同先端研究センター	特定助教 (G30)	足立 幾磨	2011/7/31	辞職	
国際共同先端研究センター	助教	足立 幾磨	2011/8/1	採用	国際共同先端研究センター・特定助教 (G30)より
人類進化モデル研究センター	特定助教 (研究開発施設共用)	佐藤 英次	2011/8/1	採用	ウイルス研究所・研究員 (産官学連携)より
※ボノボ	客員准教授	平田 聡	2011/8/31	辞職	
※ボノボ	特定助教 (寄附研究部門)	山本 真也	2011/8/31	辞職	
※ヒト科3種	特定准教授 (特別教育研究)	平田 聡	2011/9/1	採用	ボノボ (林原) 研究部門・客員准教授より
※ヒト科3種	特定助教 (特別教育研究)	山本 真也	2011/9/1	採用	ボノボ (林原) 研究部門・特定助教 (寄附研究部門) より
遺伝子情報分野	人類進化モデル研究センター長	平井 啓久	2011/9/30	併任終了	
※比較認知	特定助教 (寄附研究部門)	伊村 知子	2011/9/30	辞職	
人類進化モデル研究センター	人類進化モデル研究センター長	岡本 宗裕	2011/10/1	併任	任期は 2013/9/30 まで
思考言語分野	特定助教 (特別推進研究)	伊村 知子	2011/10/1	採用	比較認知発達 (ベネッセコーポレーション) 研究部門・特定助教 (寄附研究部門) より
野外長期研究プロジェクト	特定助教 (特別教育研究)	松田 一希	2011/11/1	採用	日本学術振興会・特別研究員(PD)より
生態保全分野	教授	渡邊 邦夫	2012/3/31	定年退職	
思考言語分野	特定助教 (特別推進研究)	伊村 知子	2012/3/31	辞職	新潟国際情報大学講師へ
高次脳機能分野	特定助教 (新学術領域研究)	倉岡 康治	2012/3/31	辞職	近畿大学医学部助教へ

※比較認知：比較認知発達 (ベネッセコーポレーション) 研究部門

※ボノボ：ボノボ (林原) 研究部門

※ヒト科3種：ヒト科3種比較研究プロジェクト

## 7. 海外渡航

### (1) 教職員

所属	氏名	期間	目的国	目的
思考言語	林 美里	2011/4/5～4/11	マレーシア	オランウータンの行動調査・研究打ち合わせ
思考言語	友永雅己	2011/4/10～4/14	中国	2011 社会認知神経科学国際会議参加・発表・資料収集
系統発生	西村 剛	2011/4/14～4/18	アメリカ	第 80 回アメリカ形質人類学会参加・発表・資料収集
ゲノム多様性	川本 芳	2011/4/23～5/8	ネパール・ブータン	野生サル観察・試料収集
思考言語	松沢哲郎	2011/4/25～5/4	アメリカ	研究打ち合わせ・ニューヨーク霊長類コロキウム参加・資料収集
社会進化	MA Huffman	2011/4/25～5/4	アメリカ・カナダ	共同研究に関する研究連絡・情報収集・セミナー参加
生態保全	橋本千絵	2011/4/26～8/19	ウガンダ・コンゴ民主共和国	野生チンパンジーの生態学的調査・研究会参加・研究連絡
遺伝子情報	平井啓久	2011/4/27～4/30	台湾	国際ワークショップ出席・発表・研究連絡
思考言語	松沢哲郎	2011/5/15～5/20	英国	人間の本性の進化的起源に関する先端研究に係る研究連絡

センター	兼子明久	2011/5/16～5/22	タイ	ワークショップ参加・研究打ち合わせ・施設見学
センター	前田典彦	2011/5/16～5/22	タイ	ワークショップ参加・研究打ち合わせ・施設見学
事務室	上垣泰浩	2011/5/16～5/22	タイ	ワークショップ参加・連携機関との連絡調整・施設見学
進化形態	濱田 穰	2011/5/16～5/23	タイ	ワークショップ参加・研究打ち合わせ・施設見学
センター	岡本宗裕	2011/5/18～5/21	タイ	ワークショップ参加・研究打ち合わせ
認知学習	正高信男	2011/5/28～6/3	グリーンランド	共同研究打ち合わせ・資料・情報収集
国際センター	DA Hill	2011/6/5～6/10	インドネシア	第2回東南アジア国際コウモリ学会出席・資料収集・研究打ち合わせ・G30 国際コース広報活動
社会進化	MA Huffman	2011/6/13～6/29	スリランカ	国際シンポジウム主催・発表・野外生態観察・研究連絡
ボノボ (林原)	山本真也	2011/6/13～8/23	コンゴ民主共和国・ベルギー	野生ボノボの行動調査・ボノボ飼育に関する資料収集
社会進化	辻 大和	2011/6/15～8/20	ベトナム・インドネシア	研究打ち合わせ・採食生態調査・サンプル分析
思考言語	松沢哲郎	2011/6/16～7/3	マレーシア	野生オランウータンの生態環境調査・研究連絡・資料収集
社会進化	古市剛史	2011/6/16～7/5	ウガンダ	チンパンジーの生態調査
系統発生	高井正成	2011/6/18～6/29	ミャンマー	化石標本観察
高次脳機能	中村克樹	2011/6/18～6/23	ドイツ	国際マーマセツ研究班会議参加・発表及び脳機能モデル動物研究センター設立準備の研究動向調査
ゲノム多様性	川本 芳	2011/6/19～6/29	スリランカ	国際シンポジウム出席・資料収集・研究打ち合わせ
生態保全	半谷吾郎	2011/6/22～6/30	マレーシア	野外調査・資料収集・研究打ち合わせ
国際センター	FB Bercovitch	2011/7/2～7/17	ナミビア	第1回 Wild Giraffe Indaba カンファレンス参加・国際コース広報活動・資料収集
事務室	小野一代	2011/7/5～7/13	ブータン	京都大学ブータン友好プログラム展開に係る視察・関係機関との打ち合わせ
進化形態	濱田 穰	2011/7/8～7/12	タイ	Use of non-human primates for biomedical Research 参加・講演・研究打ち合わせ
ボノボ (林原)	平田 聡	2011/7/18～7/22	アメリカ	アメリカ動物園水族館協会ボノボ SSP 会議出席・資料収集
統合脳システム	高田昌彦	2011/7/13～7/22	イタリア・フランス	8 <sup>th</sup> International Brain Research Organization World Congress of Neuroscience 参加・発表・資料収集・セミナー参加
思考言語	松沢哲郎	2011/8/4～8/19	ケニア・ルワンダ・英国	ワークショップ参加・資料収集及び野生動物の行動・生態環境調査
ボノボ (林原)	平田 聡	2011/8/4～8/14	ケニア・ルワンダ	ワークショップ参加・資料収集及び野生動物の行動・生態環境調査
思考言語	林 美里	2011/8/5～9/6	コンゴ民主共和国	シンポジウム参加・資料収集及びボノボの生態調査
社会進化	古市剛史	2011/8/5～9/27	コンゴ民衆共和国	シンポジウム参加・資料収集及び霊長類現地調査
ゲノム多様性	川本 芳	2011/8/6～8/21	ペルー	アンデスのラクダ科動物の集団遺伝学調査
センター	橋本直子	2011/8/15～8/22	アメリカ	国際エンリッチメント会議出席・発表・資料収集及び動物飼育施設見学
進化形態	濱田 穰	2011/8/15～8/31	ベトナム・タイ	研究打ち合わせ・霊長類の多様性調査
国際センター	DA Hill	2011/8/19～8/28	韓国	国際コース広報活動・学生募集活動
国際センター	宿輪マミ	2011/8/17～8/26	タンザニア	国際コースの周知・学生誘致活動
センター	鈴木樹理	2011/8/25～9/4	台湾	ガンマヘルペスウイルス関与リンパ腫に関する共同研究・研究打ち合わせ
比較認知発達	伊村知子	2011/8/27～9/3	フランス	ヨーロッパ視覚学会参加・発表・資料収集
国際センター	FB Bercovitch	2011/8/29～9/30	ザンビア	国際コース広報活動・学生募集活動
ゲノム多様性	川本 芳	2011/8/27～9/7	マダガスカル	ワオキツネザルの生態調査
国際センター	足立幾磨	2011/8/30～8/31	韓国	共同研究打ち合わせ
社会進化	MA Huffman	2011/9/1～9/22	イタリア・英国	霊長類の自己治療研究に関する公開講演・論文作成・研究打ち合わせ
認知学習	正高信男	2011/9/2～9/8	ナミビア	研究打ち合わせ・資料収集

系統発生	高井正成	2011/9/4～9/24	英国・ドイツ	化石標本観察
進化形態	濱田 穰	2011/9/5～9/13	タイ	シンポジウム参加・発表・資料収集及びフィールド調査
思考言語	松沢哲郎	2011/9/5～9/19	マレーシア	国際ワークショップ参加・資料収集及び動物相の調査・オランウータンの行動観察
国際センター	DA Hill	2011/9/6～9/23	英国	パートナー機関との連携打ち合わせ
ゲノム多様性	川本 芳	2011/9/8～9/29	ブータン王国	霊長類と家畜の集団遺伝学調査
ゲノム多様性	田中洋之	2011/9/15～9/26	タイ	タイ南部の霊長類の分布と生息状況調査
進化形態	濱田 穰	2011/9/15～9/26	タイ	タイ南部の霊長類の分布と生息状況調査
センター	岡本宗裕	2011/9/25～10/2	インドネシア	情報交換・疫学調査
進化形態	濱田 穰	2011/10/4～10/8	タイ	霊長類調査のための事前現地調査・研究打ち合わせ
国際センター	DA Hill	2011/10/9～10/27	マレーシア	国際コースの周知・学生誘致活動及び研究打ち合わせ
国際センター	足立幾磨	2011/10/12～10/16	アメリカ	ワークショップ参加・資料収集
遺伝子情報	郷 康広	2011/10/12～10/16	中国	シンポジウム参加・発表
生態保全	渡邊邦夫	2011/10/18～10/30	中国	霊長類野外調査・研究打ち合わせ
事務室	八木定行	2011/10/20～10/22	韓国	若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラムに関する連携連絡調整
国際センター	丹羽美帆	2011/10/20～10/22	韓国	若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラムに関する連携連絡調整
遺伝子情報	平井啓久	2011/10/20～10/22	韓国	国際シンポジウム参加・講演・研究打ち合わせ
センター	岡本宗裕	2011/10/23～11/1	中国	情報交換・疫学調査
センター	明里宏文	2011/10/24～10/29	アメリカ	第 29 回霊長類エイズモデルシンポジウム出席・資料収集・研究打ち合わせ
系統発生	西村 剛	2011/11/1～11/14	ミャンマー	化石発掘調査
系統発生	高井正成	2011/11/1～12/9	ミャンマー	化石発掘調査及び国際シンポジウム出席・発表・資料収集
認知学習	香田啓貴	2011/11/9～11/17	フランス	研究・実験打ち合わせ
社会進化	辻 大和	2011/11/10～2012/1/9	インドネシア・ベトナム	自然保護区での生態調査・研究連絡
高次脳機能	倉岡康治	2011/11/11～11/18	アメリカ	第 41 回北米神経科学学会大会参加・発表・資料収集
統合脳システム	松本正幸	2011/11/11～11/18	アメリカ	第 41 回北米神経科学学会大会参加・発表・資料収集
高次脳機能	宮地重弘	2011/11/11～11/18	アメリカ	第 41 回北米神経科学学会大会参加・発表・資料収集
統合脳システム	高田昌彦	2011/11/12～11/18	アメリカ	第 41 回北米神経科学学会大会参加・発表・資料収集
社会進化	MA Huffman	2011/11/11～11/18	台湾	講義・研究打ち合わせ
系統発生	江木直子	2011/11/13～11/21	ドイツ	第 22 回センケンベルグ国際会議出席・発表・資料収集及び標本観察
国際センター	FB Bercovitch	2011/11/16～12/1	アメリカ	国際コース広報活動・学生募集活動
社会進化	MA Huffman	2011/11/20～12/6	スリランカ	野生霊長類地域群に関する最新情報・試料収集
思考言語	友永雅己	2011/11/21～11/29	マレーシア	野生オランウータンの観察
ヒト科 3 種	山本真也	2011/11/22～12/9	ブータン	野外調査・資料収集
国際センター	DA Hill	2011/11/23～12/1	英国	国際コース広報活動・学生募集活動及び日本留学フェア参加
国際センター	宿輪マミ	2011/11/23～11/27	英国	国際コース広報活動・学生募集活動及び日本留学フェア参加
センター	岡本宗裕	2011/12/1～12/3	タイ	Joint International Tropical Medicine Meeting 2011 出席・資料収集
系統発生	江木直子	2011/12/3～12/10	ミャンマー	化石標本データ収集・標本整理
センター	宮部貴子	2011/12/7～2013/3/7	英国・オランダ	麻酔と意識に関する研究
長期野外	松田一希	2011/12/10～12/16	スイス	研究打ち合わせ・講演
思考言語	松沢哲郎	2011/12/11～2012/1/6	ギニア・フランス	野生チンパンジーの生態調査・研究連絡
ゲノム多様性	川本 芳	2011/12/12～12/22	ブータン・ネパール	霊長類と家畜の試料分析に関する研究打ち合わせ
生態保全	渡邊邦夫	2011/12/14～12/21	インドネシア	シルバールトン・カニクイザルの追跡調査

社会進化	古市剛史	2011/12/17～2012/1/7	ウガンダ	チンパンジーの感染症等に関する現地調査
社会進化	MA Huffman	2011/12/14～12/21	チェコ	共同研究に関する研究連絡・講演
ゲノム多様性	古賀章彦	2012/1/4～1/8	タイ	テナガザルの DNA サンプルの調整及び搬入
遺伝子情報	平井啓久	2012/1/4～1/8	タイ	テナガザルの DNA サンプルの調整及び搬入
国際センター	足立幾磨	2012/1/4～1/7	インド	Looking Within: Interdisciplinary Approaches to Consciousness 参加・発表
進化形態	濱田 穰	2012/1/14～1/18	インドネシア	論文審査・調査研究打ち合わせ
ゲノム多様性	田中洋之	2012/1/18～2/18	タイ	ブタオザル調査・研究打ち合わせ
長期野外	松田一希	2012/1/19～3/1	マレーシア	霊長類の繁殖行動に関するフィールドデータの収集・研究打ち合わせ
ヒト科3種	平田 聡	2012/1/24～1/30	アメリカ	ボノボ SSP/EOP 会議出席・資料収集
社会進化	古市剛史	2012/1/27～2/6	ウガンダ	チンパンジーの観察・研究打ち合わせ
ヒト科3種	山本真也	2012/2/4～3/16	ギニア・フランス	野生チンパンジーの行動調査・研究打ち合わせ
認知学習	正高信男	2012/2/5～2/10	アメリカ	音楽と言語の起源に関する共同研究成果のとりまとめ・資料収集
系統発生	江木直子	2012/2/12～2/26	フランス	第三紀哺乳類化石データ収集
進化形態	濱田 穰	2012/2/16～2/26	タイ	アッサムモンキーの野外調査・研究打ち合わせ
系統発生	高井正成	2012/2/19～2/21	台湾	研究打ち合わせ
社会進化	MA Huffman	2012/2/25～3/9	ベトナム	野外調査・研究連絡及び学術シンポジウム参加・発表
思考言語	林 美里	2012/2/28～3/8	マレーシア	オランウータンの行動調査・研究打ち合わせ
ゲノム多様性	古賀章彦	2012/3/7～3/12	マレーシア	テナガザルの体色変異に関する調査
国際センター	FB Bercovitch	2012/3/8～3/24	アメリカ	国際コース広報活動・学生募集活動
系統発生	高井正成	2012/3/12～3/15	中国	標本計測・研究打ち合わせ
認知学習	香田啓貴	2012/3/12～ 2013/3/22	英国	霊長類の異種間でのコミュニケーション及び社会認知の進化に関する国際共同研究
遺伝子情報	平井啓久	2012/3/15～3/22	英国	頭脳循環プログラムの共同研究打ち合わせ
遺伝子情報	今井啓雄	2012/3/17～3/24	中国	野生サルを観察・試料収集・研究打ち合わせ
進化形態	濱田 穰	2012/3/19～3/30	ミャンマー	霊長類分布と生息状況調査・研究打ち合わせ
高次脳機能	中村克樹	2012/3/21～3/26	アメリカ	施設見学・研究連絡・情報収集
統合脳システム	大石高生	2012/3/21～3/27	アメリカ	施設見学・研究連絡・情報収集

## (2) 大学院生

所属	氏名	期間	目的国	目 的
生態保全	澤田晶子	2011/5/9～6/5	スイス	研究打ち合わせ・資料収集・論文作成
生態保全	大谷洋介	2011/5/25～6/7	マレーシア	ブタオザルの遊動と行動に関する予備調査・研究連絡
系統発生	西岡佑一郎	2011/6/18～6/29	ミャンマー	化石標本観察
生態保全	濱田飛鳥	2011/6/22～6/30	マレーシア	野外調査・資料収集・研究打ち合わせ
生態保全	江島 俊	2011/7/1～7/21	ウガンダ	霊長類の観察・糞収集・研究打ち合わせ
思考言語	C Martin	2011/7/5～8/17	アメリカ	チンパンジーの行動から見るゲーム理論の共同研究・研究打ち合わせ
思考言語	山梨裕美	2011/7/8～7/14	マレーシア	オランウータンの行動調査・資料収集
思考言語	狩野文浩	2011/7/25～8/5	アメリカ	Behavior 2011 参加・発表・資料収集・研究打ち合わせ
社会進化	徳山奈帆子	2011/8/5～9/27	コンゴ民主共和国	ボノボの生態に関するシンポジウム参加及び現地調査
社会進化	柳 興鎮	2011/8/5～2012/1/30	コンゴ民主共和国	ボノボの生態に関するシンポジウム参加及び現地調査
思考言語	山梨裕美	2011/8/13～8/26	アメリカ	国際エンリッチメント会議参加・発表・資料収集及び動物飼育施設見学
思考言語	植田 想	2011/8/17～8/26	タンザニア	野生チンパンジー及び生物の生態調査
思考言語	櫻庭陽子	2011/8/17～8/26	タンザニア	野生チンパンジー及び生物の生態調査
社会進化	韓 昭晶	2011/9/19～ 2012/3/16	ドイツ	飼育ボノボとチンパンジーの活動に関する調査・データ収集
系統発生	西岡佑一郎	2011/9/4～9/30	英国・ドイツ	化石標本観察



系統発生	西岡佑一郎	2011/11/1～12/11	ミャンマー・タイ	化石発掘調査・国際シンポジウム出席・発表・資料収集
遺伝子情報	I Jahan	2011/11/2～2012/2/8	バングラデシュ	テナガザルの遺伝試料収集
生態保全	大谷洋介	2011/11/9～12/8	マレーシア	野外調査・研究打ち合わせ
高次脳機能	楠占雅史	2011/11/11～11/18	アメリカ	第41回北米神経科学学会大会参加・発表・資料収集
高次脳機能	鴻池菜保	2011/11/12～11/18	アメリカ	第41回北米神経科学学会大会参加・発表・資料収集・研究打ち合わせ
思考言語	山梨裕美	2011/12/10～2012/3/15	フランス・ギニア	野生チンパンジーの調査・資料収集
生態保全	江島 俊	2012/1/4～2/29	ウガンダ	霊長類種の観察・糞収集・研究連絡
生態保全	大谷洋介	2012/1/20～3/7	マレーシア	ブタオザル生態調査・研究打ち合わせ
思考言語	Y Kim	2012/2/12～2/26	韓国	大型類人猿の比較認知科学に関する国際共同研究実施の打ち合わせ
思考言語	狩野文浩	2012/2/13～2/27	英国	研究打ち合わせ・成果報告
系統発生	伊藤 毅	2012/3/12～3/15	中国	標本計測・研究打ち合わせ
遺伝子情報	鈴木南美	2012/3/17～3/24	中国	野生サルを観察・試料収集・研究打ち合わせ

### (3) 教務補佐員・技術補佐員・研究支援推進員

所属	氏名	期間	目的国	目 的
ゲノム多様性	市野進一郎	2011/3/1～8/10	ドイツ	ワオキツネザルの長期データ分析・研究打ち合わせ
生態保全	伊左治美奈	2011/4/26～10/28	ウガンダ	野生チンパンジーの生態学的調査
進化形態	橋本裕子	2011/6/20～6/24	韓国	博物館所蔵の資料調査・収集
思考言語	小倉匡俊	2011/8/12～8/27	アメリカ	第10回国際エンリッチメント会議参加・発表・資料収集及び施設見学
ゲノム多様性	市野進一郎	2011/8/20～10/8	マダガスカル	キツネザル類の野外調査・研究連絡・資料収集
進化形態	橋本裕子	2011/8/30～9/20	英国	イギリス形質人類学会参加・発表・資料収集及び資料観察
進化形態	橋本裕子	2011/10/3～10/9	韓国	遺跡出土人骨の観察
思考言語	小倉匡俊	2011/12/3～2012/3/1	アメリカ	マカク類に対する環境エンリッチメントに関する資料収集
ゲノム多様性	市野進一郎	2011/12/5～12/12	ドイツ	国際シンポジウム参加・発表・資料収集
生態保全	伊左治美奈	2012/1/4～3/28	ウガンダ	野生チンパンジーの生態学的
進化形態	橋本裕子	2012/2/24～3/1	韓国	研究打ち合わせ・所蔵資料の観察・資料収集
進化形態	加賀谷美幸	2012/3/19～3/30	ミャンマー	霊長類分布と生息状況調査・研究打ち合わせ

### (4) 非常勤研究員

所属	氏名	期間	目的国	目 的
社会進化	坂巻哲也	2011/4/30～8/20	コンゴ民主共和国	ボノボの野外調査・研究連絡・研究会出席
国際センター	西澤和子	2011/5/6～11/5	ブータン	健康・医療・文化に関する調査研究
国際センター	AJJ MacIntosh	2011/5/7～5/29	フランス	ペンギンの行動に関する共同研究・研究打ち合わせ
社会進化	竹元博幸	2011/7/2～10/3	ギニア	野生チンパンジーの生態調査
思考言語	落合知美	2011/8/13～8/25	アメリカ	国際エンリッチメント会議参加・資料収集及び動物園施設見学
国際センター	M Seres	2011/8/17～8/26	タンザニア	野生チンパンジーの調査・資料収集
系統発生	矢野 航	2011/8/19～10/31	スイス・オーストリア・ドイツ・英国	3次元数理解析プログラム開発のための共同研究
社会進化	坂巻哲也	2011/10/11～2012/2/28	コンゴ民主共和国	野生ボノボの調査・研究打ち合わせ
統合脳システム	二宮 太平	2011/11/12～11/18	アメリカ	第41回北米神経科学学会大会参加・発表・資料収集
系統発生	矢野 航	2011/11/23～12/10	ミャンマー	化石発掘調査・化石標本データ収集・標本整理
社会進化	竹元博幸	2011/12/10～2012/3/9	ウガンダ・コンゴ民主共和国	野生チンパンジー・ボノボの生態調査・研究連絡
国際センター	AJJ MacIntosh	2012/1/28～2/9	フランス・ドイツ	研究打ち合わせ・資料収集

国際センター	AJJ MacIntosh	2012/2/25～3/9	ベトナム	野外調査・研究連絡及び学術シンポジウム参加・発表
--------	---------------	---------------	------	--------------------------

## (5) 学振特別研究員 (PD)

所属	氏名	期間	目的国	目 的
生態保全	松田一希	2011/5/10～7/10	マレーシア・シンガポール	国際トレーニングワークショップ参加・テングザル追跡調査・研究連絡
思考言語	CD Dahl	2011/8/28～9/10	スイス・フランス	研究打ち合わせ・資料収集
生態保全	松田一希	2011/9/15～11/15	マレーシア	研究打ち合わせ・テングザルの追跡調査
思考言語	CD Dahl	2012/1/3～1/8	インド	Looking Within: Interdisciplinary Approaches to Consciousness 参加・情報収集及び研究打ち合わせ

## 8. 非常勤講師

(理) 星英司 (財団法人東京都医学研究所認知症・高次脳機能研究分野副参事研究員)  
「随意的行動制御の神経基盤」2011.10.13～10.14

(霊) 大井徹 (独立行政法人森林総合研究所鳥獣生態研究室長)  
「野生動物の食性研究と保全への適用」2011.11.29～11.30

(理) 颯田葉子 (総合研究大学院大学先端科学研究科教授)  
「進化集団遺伝学」2011.12.19～12.20

(理) 大館智志 (北海道大学低温科学研究所助教)  
「日本の哺乳類における生物地理、進化、生態：特に北の視点より」2012.1.26～1.27

(理)：理学研究科 梓 (霊)：霊長類研究所 梓

## 9. リサーチ・アシスタント (R・A)

(氏名：採用期間)

清長 豊 : 2011.4.1～2012.3.31  
鈴木 南美 : 2011.4.1～2012.3.31  
西岡 佑一郎 : 2011.4.1～2011.9.30

グローバル COE

西岡 佑一郎 : 2011.10.1～2012.3.31  
棚占 雅史 : 2011.4.1～2012.3.31  
澤田 玲子 : 2011.4.1～2011.6.30  
飯田 恵理子 : 2011.4.1～2012.3.31  
松川 あおい : 2011.4.1～2012.3.31  
安井 早紀 : 2011.4.1～2012.3.31  
吉田 弥生 : 2011.4.1～2012.3.31

## 10. ティーチング・アシスタント (T・A)

(氏名：採用期間)

霊長類学・野生動物系科目に係るもの  
早川 卓志 : 2011.7.1～2011.7.31  
2011.10.1～2011.12.31  
田中 美都 : 2011.7.1～2011.7.31  
2011.10.1～2011.12.31  
兼子 峰明 : 2011.10.1～2011.10.31  
磯村 朋子 : 2011.10.1～2011.12.31  
山田 智子 : 2011.10.1～2011.12.31  
佐藤 杏奈 : 2011.10.1～2011.12.31

鈴木 南美 : 2011.12.1～2011.12.31  
徳山 奈帆子 : 2012.1.1～2012.1.31



全学共通科目に係るもの

原 暢 : 2011.5.1～2011.6.30  
 2011.9.1～2011.9.30  
 奥田 康広 : 2011.6.1～2011.6.30  
 I Jahan : 2011.7.1～2011.7.31  
 徳山 奈帆子 : 2011.7.1～2011.7.31  
 山田 智子 : 2011.9.1～2011.9.30  
 植田 想 : 2011.9.1～2011.9.30  
 兪 リラ : 2011.9.1～2011.9.30  
 江島 俊 : 2011.9.1～2011.9.30

国際センターTA

村松 明穂 : 2011.12.1～2012.3.31  
 C Martin : 2011.12.1～2012.3.31  
 磯村 朋子 : 2012.1.1～2012.3.31

## 11. 年間スケジュール

### 2011 年

4 月 4 日 新入生オリエンテーション  
 4 月 22 日 新入所員歓迎会  
 5 月 7-8 日 日本赤ちゃん学会 第 11 回学術集会（中部学院大学各務原キャンパス）  
 6 月 11-12 日 共同利用研究会「第 12 回ニホンザル研究セミナー」  
 6 月 18 日 本学創立記念日  
 7 月 30-31 日 犬山公開講座「霊長類学の愉しみ」  
 8 月 2-3 日 大学院修士課程入学試験  
 9 月 25 日 東京公開講座（日本科学未来館）  
 9 月 26 日 運営委員会  
 9 月 28-30 日 全学共通科目「霊長類学の現在」  
 10 月 12 日 サル慰霊祭  
 10 月 30 日 市民公開

### 2012 年

1 月 10 日 博士論文発表会  
 1 月 23 日 修士論文発表会  
 2 月 2-3 日 共同利用研究会「社会行動と脳ーイメージングと分子ー」  
 2 月 21-22 日 オープンキャンパス  
 2 月 23 日 大学院博士課程編入試験  
 3 月 2-3 日 共同利用研究会「行動特性を支配するゲノム基盤と脳機能の解明」  
 3 月 10-11 日 共同利用研究会「アジアの霊長類の保全と社会生態研究に関する近年の新たな展開」  
 3 月 11 日 渡邊邦夫先生最終講義  
 3 月 12 日 運営委員会  
 3 月 15-16 日 ホミニゼーション研究会「ドーパミンの役割：運動機能から高次機能へ」  
 3 月 17-18 日 共同利用研究会「サルが二足で歩くとき」  
 3 月 24-25 日 共同利用研究会「第 7 回比較社会認知シンポジウム」